

行政事業レビューシート (環境省)											
予算事業名	循環型社会形成推進科学研究費補助金	事業開始年度	平成13年			作成責任者					
担当部局庁	廃棄物・リサイクル対策部	担当課室	廃棄物対策課			廃棄物対策課長 徳田 博保					
会計区分	一般会計	上位政策	環境政策の基盤整備								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第4条3項 循環型社会形成推進基本法第30条	関係する計 画、通知等	循環型社会形成推進基本計画 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第5条の2に基 づく基本方針								
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	本補助金は、廃棄物の処理等に係る科学技術に関する研究を促進し、もって廃棄物の安全かつ適正な処理、循環型社会の形成の推進等に関する行政施策の推進及び技術水準の向上を図ることを目的としている。										
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	循環型社会形成推進研究事業:補助率10/10 (廃棄物の安全・適正処理、循環型社会推進、科学技術水準の向上に関する研究) 循環型社会形成推進研究推進事業:補助率10/10(研究成果の情報提供、普及啓発及び当該研究分野の発展) 次世代循環型社会形成推進技術基盤整備事業:補助率1/2 (廃棄物の適正処理、循環型社会形成等の推進に関する実用化が見込まれ、経済性、効率性に優れた技術の開発) 競争的資金制度として、外部の審査委員による評価、審査により、採択し、この評価を踏まえ、資源配分を行っている。										
実施状況	循環型社会形成推進研究事業:87件 循環型社会形成推進研究推進事業:1件 次世代循環型社会形成推進技術基盤整備事業:4件										
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求					
	予算額(補正後)	1,261	1,135	1,803	1,738	0					
	執行額	1,172	1,126	1,771							
	執行率	93%	99%	98%							
	総事業費(執行ベース)										
自己点検	支出先・ 用途の把握 水準・ 状況	支出先:研究者、技術開発者(大学、研究機関、企業、団体等) 用途の把握水準:研究完了後に実績報告書の提出を求め経費所要額調書により把握している。また、次世代循環型社会形成推進技術基盤整備事業においては、年2回の進捗状況報告を求め、年1回現地調査を行い執行状況の把握に努めている。 状況:循環型社会形成推進研究事業は、研究件数が多く、研究分野が多岐に渡り専門性が高いため、現場における進捗状況の把握はできていないが、審査委員による事前審査により研究の実行体制や計画性をチェックするとともに、あわせて、審査委員による中間評価と事後評価を行うことにより、執行状況の把握に努めている。									
	見直しの 余地	循環型社会形成推進研究事業の研究期間が1年の研究については、研究終了後の実績報告のみによる状況把握となっていることから、提出されている研究計画に対する研究進捗状況を随時把握し、適切な進捗を促す体制を充実することにより、科学研究費補助金の効率的な運営に努める。 民間の技術開発を目的とする、次世代循環型社会形成推進技術基盤整備事業においては、事業化につながる可能性の高い研究を選定するため、効果的な実施に努める。									
予算   監視 の ・ 所 効 見 率	抜本的改善 (他の競争的資金と統一し、業務の効率化や応募者の利便性を高めるべき。)										
補 記	○予算繰越(当該年度の前年度からの繰越額)										
	単位:百万円 <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成19年度</th> <th>平成20年度</th> <th>平成21年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>						平成19年度	平成20年度	平成21年度	-	-
平成19年度	平成20年度	平成21年度									
-	-	-									

環境省  
1,771百万円

要項・要領作成、公募  
評価委員会の運営  
事前・中間・事後評価  
報告書のとりまとめ

【公募・補助】

A.大学、研究機関等(87団体)  
1,679百万円

研究・報告書作成  
事前・中間・事後評価  
研究発表

【公募・補助】

B.(財)日本環境衛生センター  
21百万円

研究成果の情報提供  
研究発表会開催  
研究分野の普及啓発  
廃棄物に関する研究支援

【公募・補助】

C.企業等(4団体)  
71百万円

研究・報告書作成  
事前・中間・事後評価  
研究発表

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の金  
 額が支出されて  
 いる者について  
 記載する。使途  
 と費目の双方で  
 実情が分かるよ  
 うに記載)

A.東洋大学			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
消耗品費	ラット解剖の実験器具、試薬など	23			
委託費	病理組織標本作製、動物飼育管理	12			
間接経費	研究機関等の管理等に必要な経費	9			
賃金	専門知識を有する研究支援者雇用	5			
備品費	中皮腫バイオマーカー測定器ほか	3			
その他	旅費、印刷製本費、通信運搬費	1			
計		53	計		0
B.(財)日本環境衛生センター			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	研究発表会講師派遣等	9			
間接経費	経理担当、事務局人件費	5			
借料及び損料	研究発表会場借料	3			
印刷製本費	発表会抄録集、会議資料	2			
雑役務費	関連紙誌発表会広告掲載	2			
計		21	計		0
C.株式会社タクマ			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
設備費	プレハブ、機械装置	14			
物品費	実験機器	4			
外注費	実験補助	3			
試料分析鑑定料	サンプリング油類分析	3			
その他	旅費、通信運搬費	1			
計		25	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0